

鋤式多段刃型埋設機

日中間海底ケーブル建設区間の苓北～上海間には広大な東シナ海の大陸棚があり、ケーブルルート約 850 kmのうち、80％に当たる個所が水深 200m 以浅であった。そのため漁業活動に対するケーブル保護対策として、1976 年（昭和 51）に「鋤式多段刃型埋設機」を開発し、水深 200m 以浅の大陸棚全体にわたってケーブルを海底下に埋設することに成功した。

出典：KDD 社史